

サッポロクジラ と サッポロカイギュウ

ナゾ 1

これらの化石はなぜ貴重なの？

サッポロクジラは、世界で1番保存状態の良いセミクジラ科の化石。頭だけではなく指まで残っているよ！今まで900万年前のセミクジラ科の化石は見つかっていないから、どのように進化したのかをひもとく手掛かりになるんだ。また、サッポロカイギュウは、大型カイギュウとして世界で1番古い化石で、どちらも貴重なものだよ。

私のことを
知ってほしいな♪



▲サッポロクジラさん

化石はいろいろなことを教えてくれるよ！一緒に話そう！

札幌市博物館活動センター
札幌市博物館活動センター
田中 嘉寛 博士

ナゾ 2

サッポロクジラとサッポロカイギュウって？



▼マナティー

サッポロクジラはセミクジラの仲間です。サッポロカイギュウはマナティーなどカイギュウ(海牛)の仲間。見た目はクジラに似ているけれど、ゾウの仲間なんだよ。

ナゾ 4

今後の研究で何が分かるの？

サッポロクジラは舌骨(舌の付け根にある骨)も見つかっているよ。この骨の形を調べると、どんな食べ物を食べていたかが分かるかも！博物館活動センターでは、今後もサッポロクジラの生き方を研究していくから、新しい発見を楽しみにしてね！

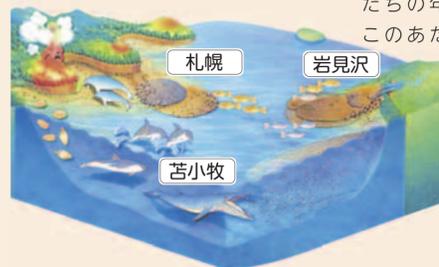
舌骨

ある日、豊平川(小金湯付近)で見つかった化石。それは世界的にも貴重なサッポロクジラとサッポロカイギュウの骨でした。今回は化石が教えてくれる「ナゾ」を紹介します。



▲サッポロカイギュウ

サッポロクジラたちの年代はこのあたり▶



▲当時の札幌のイメージ



◀サッポロクジラが生きていたときの想像図 ※引用元はページ右下参照

ナゾ 3

海の生き物の化石がなぜ豊平川に？

実は、サッポロクジラたちが生きていた800~900万年前、札幌は海だったんだ！地球の長い歴史の中で、海になったり陸になったりを繰り返して、今の札幌の地形ができたんだね。

▼茶色になっている部分は化石が見つかっているよ

▲サッポロクジラ ※引用元はページ右下参照

◀約170cmの人と比べてみよう！大きさの違いが一目瞭然だね！

サッポロクジラはこんなにスゴイ！
札幌市で初の骨化石の新種！

学名は「メガペリーナ・サッポロエンシス」。札幌にちなんだ名前です。令和7年8月に新種認定されたばかり！世界に約10種しかいないセミクジラ科の新種の一つが、札幌市南区から見つかったなんて誇らしいね。世界的にも貴重なセミクジラ科の進化のナゾを解くカギとなるこの化石は博物館活動センターで展示しているよ！

3月14日(土)から活動報告展を開催予定！
実物のサッポロクジラの化石を見に行こう♪

札幌市博物館活動センター
住所 豊平区平岸5条15丁目1-6
入館料 無料
開館時間 10時~17時
休館日 日曜・月曜、祝日、年末年始
☎374-5002
団体利用の際は事前にご連絡ください



▲詳細

◀引用元▶
Tanaka, Yoshihiro, Kimura, Toshiyuki, Shinmura, Tatsuya, Ohira, Hiroto, and Funusawa, Hitoshi. 2025. A new member of a large and archaic baleenid from the Late Miocene of Sapporo, Hokkaido, Japan partly fills a gap of right whale evolution. Palaeontologia Electronica, 28(2): a37.